

至慈尊院

# 九度山 まちなか マップ



真田のみちエリア

九度山駅



**7 松山常次郎記念館**  
郷土が生んだ政治家・松山常次郎氏に関する遺品や資料の展示、また平山郁夫画伯の絵画を展示し、九度山町の観光の拠点として役割を担っています。  
また常次郎氏の長女美智子さんは日本絵画界の巨匠・平山郁夫画伯の夫人であり、その平山美智子さんに九度山町文化・観光大使として、九度山町の文化・観光、物産等の魅力を全国に紹介いただいています。



## 6 九度山焼(米金)

今も町の人々から親しまれている米金の金時は、南紀荘平氏の作で彼が大正のはじめごろ、東山に窯を築いて焼きあげたものです。高さ二メートルあまり、こんな大きな陶像は全国にも珍しいものと言われています。



## 5 真田庵(善名称院)

真田昌幸、幸村が閑居した屋敷跡に建つ寺院です。幸村の旗印である六文銭が刻まれた門をくぐると重厚な本堂があり、境内には開山堂や土砂堂、真田昌幸の墓、真田宝物資料館、与謝無村の句碑などがあります。



## 4 真田古墳(真田の抜け穴伝説)

真田古墳は、紀ノ川と丹生川によって開折された段丘状台地の南斜面中腹に立地している。大坂夏の陣の六文銭の旗印をばせたかつての勇将真田幸村が草庵をむすんだゆかりの地でもあり、実はこの古墳はひさしく「真田の抜け穴」と伝承されてきました。



真田のみち沿いに建っている「六文銭」と「柿」の街灯。



至高野山

## 1 まちなか休憩所

まちなか休憩所として、古民家を再利用した建物で、自由にご利用いただけます。  
また、九度山ならではの土産品販売コーナーも併設されています。



## 3 旧不動院と大石順教尼の館

(町指定建造物)  
明治三八年(一九〇五)、養父中川萬次郎の狂刃により六人斬り事件の巻き添えを受け、一七歳の身で不幸にして両親を切り落とされた尼僧大石順教は、苦難の道を乗り越え、両手のないまま口筆をくわえる事を開眼し、昭和八年(一九三三)菅野止之助・タツ夫婦が菩提親となり高野山天徳金山大僧正を師として得度し、しばしば九度山萱野邸に寄留し、数多くの書面をこの館に書き残しています。



1 まちなか休憩所  
公共トイレ

## 2 対面石

現在でも街筋筋のこの地にあり、「紀伊続風土記」にも、「弘法大師横尾明神と対面せし処といひ伝へたり」とあります。今では弘法大師が母公と対面した所と説明されていますが、これは明治時代以後のことです。こゝは、横尾に登る口あたりにあり、神聖な石も祀る大切な場所であったと考えられます。



4 真田古墳(真田の抜け穴伝説)  
2 対面石

## 3 旧不動院と大石順教尼の館

九度山郵便局

6 米金

7 松山常次郎記念館

町営駐車場(NTT)

紀陽銀行九度山支店

鯉のぼりの丹生川渡し(4月上旬~5月上旬頃)

町営駐車場(入郷)

紀の川

丹生川

農協九度山支店

九度山派出所

町営駐車場(丹生川沿い)

5 真田庵

至橋本

南海高野線九度山駅